

「社会的処方」
ってなに？

つながりの意味
つながる価値

地域との
つながりを処方する

社会的処方

～市民活動が誰かの薬になるらしい～

社会的処方から考える「つながりの意味や価値」をテーマにした講演会。『社会的処方』の著者、西智弘さんをお招きし、事例などを交えながら社会的処方についてお話いただくイベントです。

〈社会的処方〉

薬の処方等だけでなく、地域ボランティアやサークル活動など、地域の人をつなぐを処方すること。

日時

2024年 **9月28日** 土 15時15分～16時45分

場所

東播磨生活創造センター「かこむ」1階 たばす

参加費

無料

定員

60名

講師

川崎市立井田病院 腫瘍内科 部長／一般社団法人プラスケア代表理事
西 智弘（にし ともひろ）さん



お申し込みはこちら

〈講師プロフィール〉

2005年北海道大学卒。室蘭日鋼記念病院で家庭医療を中心に初期研修後、2007年から川崎市立井田病院で総合内科／緩和ケアを研修。その後2009年から栃木県立がんセンターにて腫瘍内科を研修。2012年から現職。現在は抗がん剤治療を中心に、緩和ケアチームや在宅診療にも関わる。

また一方で、一般社団法人プラスケアを2017年に立ち上げ代表理事に就任。「暮らしの保健室」「社会的処方研究所」の運営を中心に、地域での活動に取り組む。

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。著書に『だから、もう眠らせてほしい（晶文社）』『みんなの社会的処方（学芸出版社）』などがある。



同時開催



kaco-LAB.フェス2024

9月28日(土)・29日(日) 10:00-14:30

「かこむ」1階にて開催中！
様々な活動体験・活動展示・ステージ
を楽しむことができます。